

議会報告会での意見・要望等 《学生との意見交換分》 【議会として合意形成し、市長に回答を求めるもの】

本市議会では若者の意見を市政に反映できるよう、令和3年度から市内の高等学校、有明工業高等専門学校、帝京大学の学生と意見交換を重ねてきました。

その中で、有明工業高等専門学校及び帝京大学の学生からは、専門性や経験、知識に加え、学校が有する研究力、ノウハウ、機材等、有形無形の知的財産を大牟田市や市民のために有意義に活用したいといった多くの御意見をいただきました。

また、市内の高校からも、本市の魅力向上に向け、公共交通の充実、大牟田の情報発信、空き家対策、安心安全なまちづくりなど、本市が若者にとって住みたいまちへの発展に資する多くの意見をいただいているところです。

このような中、令和7年度の意見交換会において、学生の意見を参考とし、委員会として市長等へ要望及び提案を行うこととする意見は、次のとおりです。

○公共交通の充実について

公共交通の充実については、バスやタクシーの数が少なく通学やレジャーにおいて不便であることから、事業者と協議し、バスの増便やタクシーの台数増を図られたい。

また、高齢者等の移動の利便性向上や社会参加促進の効果も期待されることから、高齢者の生活を支えるための新たな交通サービスの検討を図られたい。

～上記の意見・要望を取りまとめるに至った主な意見については以下のとおり～

【有明工業高等専門学校】

- ・交通の利便性については、朝、有明高専行のバスが混雑する事や、遊びに行く際に不便であるため、バスの増便を図られたい。
- ・公共交通機関の充実については、バスの本数やタクシーが少ないことから、数を増やしてほしい。また、八女市の循環バスは、300円で乗り放題などの実証実験を行っており、こういった取り組みをしてほしい。

【市内高等学校】

- ・地域のバス運行改善については、高齢者の利用（需要）が多い一方で、バスの本数が少ないため、高齢者向けのデマンド交通や乗り合いバスのようなサービスを導入することによって、高齢者の移動の利便性向上や、社会参加の促進のような効果が期待されることから、高齢者の生活を支えるための新たな交通サービスの検討を図られたい。
- ・少子・高齢化対策については、インフラ整備やバリアフリー化（バス・電車）をすることによって、安心して暮らせるまちづくりに取り組まれたい。

○インフラ整備について

インフラ整備については、通学路の道幅が狭く自転車などの通行が危険な箇所もあるため、道幅を広くするなど安心して通行できる道路とされたい。

また、歩道についても歪みや縁の段差などによる自転車や高齢者の転倒の危険が心配されることから、ユニバーサルデザインの視点で整備されたい。

加えて、雑草の繁茂により道幅が狭くなるなど、視界を遮り危険であることから改善されたい。

～上記の意見・要望を取りまとめるに至った主な意見については以下のとおり～

【帝京大学】

- ・歩道の整備については、道路や歩道のガタガタや歩道の縁の段差などによる、自転車や高齢者の転倒が怖い。住みやすいまちにするために、道や歩道をユニバーサルデザインの視点で整備することによって、歩きやすさ、通行しやすさが見込まれ、そのことによって高齢者や子供の安全が確保でき、やさしいまちをアピールすることできると思う。
- ・道路整備については、歩道に繁茂する雑草が歩道の幅を狭くしたり、歩行者や自転車の通行を車から見えづらくしているため、歩道の草刈りをする事で事故を防ぐことができると思う。その際は、大学生にも草刈りボランティアを呼びかけられたい。
- ・道路整備については、自転車で通りにくい道もあることから、車道との区別や、信号機をつけるなど、自転車の通行をしやすく整備することで、さらに住みやすいまちに変わると思う。

【有明工業高等専門学校】

- ・インフラ整備については、道路の幅が狭く自転車の通行など危険であることから、道幅を広くし、街灯を設置するなどして、安心して通行できる道路となるよう整備されたい。
- ・道路の管理が行き届いておらず、道路横の雑草で車などが傷つくおそれもあることから改善が必要。この問題を解決すれば明るく活気あるまちを実現できるのではないか。
- ・大牟田駅周辺の開発など、福岡市との繋がりを図られたい。また、コンパクトなまちをつくることで、歩きやすいまちづくりを実現されたい。

○安全安心のまちづくりについて

安全安心のまちづくりについては、通学路に街灯が少ないこと、また交通事故防止や防犯の観点からも街路灯や防犯カメラを設置されたい。

～上記の意見・要望を取りまとめるに至った主な意見については以下のとおり～

【帝京大学】

- ・道路整備については、イオンから自宅までのバイトの帰り道に街灯が少なく、夜道が暗いため、街灯を増やすことで事件等の可能性を減らすことができると思う。

【市内高等学校】

- ・安心できる地域については、通学路として通っている道に街灯がほとんどなく、不安になることがあるので、防犯カメラや街路灯を設置することにより、犯罪に巻き込まれるリスクも減り、安心感にもつながる。また、車から見えやすくなることにより、交通事故の防止にもなることから、防犯カメラや街路灯を設置されたい。
- ・夜でも明るいまちづくりについては、学校からの帰りが暗いことから、明かりがついたジャー坊のキーホルダーなどを作成して配布するとともに、街灯を増やすことで、過ごしやすいまちづくりに取り組まれたい。

○空き家対策について

空き家対策については、リフォームするなどして、カフェや勉強できる場所、シェアハウスなど若者が集まる場のほか、イベントの開催場所や災害時の避難所、休憩の場として活用し、市街地以外の場所では高齢者のためにも空き家を買いたいことができる場とするなど、柔軟な活用策を検討されたい。

～上記の意見・要望を取りまとめるに至った主な意見については以下のとおり～

【帝京大学】

- ・新栄町などの商店街の復興については、町並みは良いので、空き家をリノベーションなどで活用して活気が出ると、大牟田の魅力が増えていくと思う。

【有明工業高等専門学校】

- ・建物の老朽化やシャッター街が目立っており、暗いと思われる原因となっていることから、夜市を開催し、空き店舗を貸し出すなど、にぎわいを出してはどうか。
- ・空き家・空き地・空きビルや大牟田駅周辺については、カフェを設けたり、大牟田駅を降りて放課後も集えるような場所を提供されたい。
- ・諏訪公園よりも、有明高専の寮近くの広場の整備、徒歩圏内の空き家を活用したような整備をされたい。
- ・市街地以外の場所については、高齢者のためにも、空き家をスーパーなど買い物ができる場所にされたい。
- ・産業の活性化については、空き家資源をオフィスに活用されたい。
- ・建築コースの生徒が空き家を改修するイベントに参加をした。空き家を生かした学生たちと、ゼロから何かを共に創る活動を取り入れられたい。

【市内高等学校】

- ・現在実施されている空き家対策では、空き家の増加を止めることはできていないことから、他都市の取組を参考にしながら予防に努めてほしい。若者からの需要も見込めるシェアハウスなどの活用も試してみてはどうかと思う。
- ・新栄町の雰囲気盛り上げ、明るくするために、使われていない建物をリフォームするなどして再利用したらよいと考える。具体的には若者が集まる場所としてカフェや勉強できる場所、遊びができる公園などがあると良いと思う。

- ・過去には、中心地が栄え人で溢れていたが、現在はシャッター街になっており、イオンやゆめタウン以外では若者が遊びに行くところがない。空き店舗をカフェなどの若者向けに再利用することで、ネガティブな印象を変えることができ、SNS等を活用し、市内外へ情報発信し、市の魅力を伝えることで来訪者の増加を目指せると思う。
- ・使われなくなった商店や空き家を活用して、地域の再生を目指してほしいと思う。具体的な活用策としては、イベントの開催場所、災害時の避難場所、勉強・休息の場、その他貸出場所としての活用などが考えられると思う。

○情報発信について

情報発信については、大牟田駅周辺や新栄町駅前の開発などのまちづくりの情報が、市民や学生の目には見えていないため、見える化を図り、若者に届くよう広報力を強化されたい。

～上記の意見・要望を取りまとめるに至った主な意見については以下のとおり～

【有明工業高等専門学校】

- ・駅前の開発などは、パース・イメージ図で見えるようにされたい。
- ・バス停のデジタル化のように、近未来感を出されたい。
- ・大牟田駅などの開発は進められていると聞いているが、市民の目、学生の目に見えていないので、広報力を強化されたい。